

総合計画 高校生提言会議の提言内容について（報告）

市内4つの高等学校の代表生徒22名を対象に開催した総合計画 高校生提言会議の提言内容について報告するもの。第7次総合計画後期計画を策定するにあたって、検討材料の一つとする。

【開催日時】平成30（2018）年12月15日（土） 午後2時～午後4時15分

【テーマ】将来住みたいまち“多治見”にするにはどうしたらよいか？

～そのために私たちに何ができるか～

主な提言内容

※【私たちにできること】の丸数字の前の番号は、【提言内容】の番号に対応

1 グループ テーマ：賑わいと活気のあるまち
【提言内容】 1 公共交通網を整備 2 特産品を増やしPR－賑わいと活気のあるまちに－ 3 全ての人々が安心して楽しく過ごせるような施設を充実させる 【私たちにできること】 1－①バス利用者にメリットがあるように、バスの乗車ごとにポイントを付与し、それを駅周辺の飲食店などで使用できる制度の検討 1－②地域に密着した使い勝手のいいバス（乗合バス）を企画。バスアプリを開発して、時間を待たず利用したい時間に利用できる乗合バスを検討 2－①SNS（LINE）を活用して友人や家族に多治見の国宝や陶磁器などの名産品をPR 2－②特産品の開発に協力 3－①より良いまちづくりのために、多治見をより良くする会社を設立。市の職員としてまちづくりに参加 3－②地元就職する人を増やすため、高校において地元での職場体験学習の実施。高齢者や地域とのつながりを増やすことで、郷土愛を醸成
2 グループ テーマ：どんな年代でもどんな人でも楽しめる活気がある街
【提言内容】 1 涼しくて遊べる場所の創出、イベントの開催 2 商店街の活性化 【私たちにできること】 1－①夏に水を使って納涼イベントを企画（虎溪用水広場を使った涼む場所の企画） 2－①空き店舗などを活用して、インスタ映えするようなお店を企画し、SNS等で拡散 2－②多治見を紹介するポスターなどを作製し、駅に掲示

3 グループ テーマ：若者が楽しめるまち

【提言内容】

- 1 駅周辺のにぎわいの創出（多様な店がまとまり、人が集まる施設がある）
- 2 観光スポットの活用
- 3 多治見らしさを生かした、自然の中で子どもからおとなまで楽しく遊べる場の充実

【私たちにできること】

- 1 - ①経済活動に参加
 - イ. 高校生と企業による共同商品開発を行い、空き店舗などを活用して販売
 - ロ. ビジュアルを重視した多治見ならではの「もの」を考案
 - ハ. 高校生が関わるアンテナショップを開設し、各高校が参加
(お金を落とす場を増やす・学生も消費者となり経済効果を見込む)
- 2・3 - ①自然を生かした若者向けスポット（アスレチック・ツアー）の考案
 - イ. 自然を活用し、子ども・親子や若者が楽しめる場の創出
 - ロ. 観光スポットを活用したツアーの企画
 - ハ. 多治見の良いところや話題をSNSで発信

4 グループ テーマ：使う人（私たち）の意見で使いやすく

【提言内容】

- 1 移動がしやすいまち
- 2 暑さと共存できるまち
- 3 治安がいいまち

【私たちにできること】

- 1 - ①信号機の切り替え時間の提案（歩行者用信号が極端に短いところがあったり、右折の矢印が出ない交差点で、右折レーンに車が渋滞したりすることがあるため）
- 1 - ②降車時の支払いをスムーズにすることにより、乗車率の向上させるため、路線バスでの交通系電子マネー（ICカード）の採用の提案
- 1 - ③路線バスのダイヤの提案（特に登校時・通学時）
- 1 - ④自転車の利用
- 2 - ①ミスト発生器設置について、効果的な設置場所の提案
- 2 - ②水分補給を促す取組み
- 2 - ③市全体に温度計の設置（各家庭に温度計を設置することにより効果的な暑さ対策が可能）
- 3 - ①不審者対策のため、近所の人と良好な関係を維持
- 3 - ②防犯的に危険な場所や通学路で危険な場所のハザードマップを作成
- 3 - ③防犯灯や防犯カメラの設置場所の提案